



Vol.2

[平成28年1月]

# 加賀市 医療 センター

Kaga Medical Center

通信

平成28年4月に誕生する  
「加賀市医療センター」に関する  
詳しい情報をお知らせ致します。

特集  
加賀市  
医療センターの  
機能について



## 加賀市医療センター

石川県加賀市作見町リ36番地



# 安心できる救急医療体制をめざします

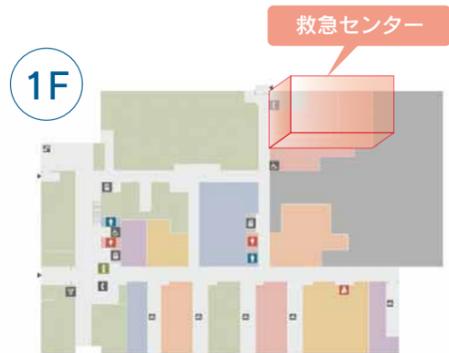
## 救急センター

ことわらない救急体制を実現するため、内科系・外科系の医師1名ずつ、計2名の医師による当直とオンコール体制での対応を行います。

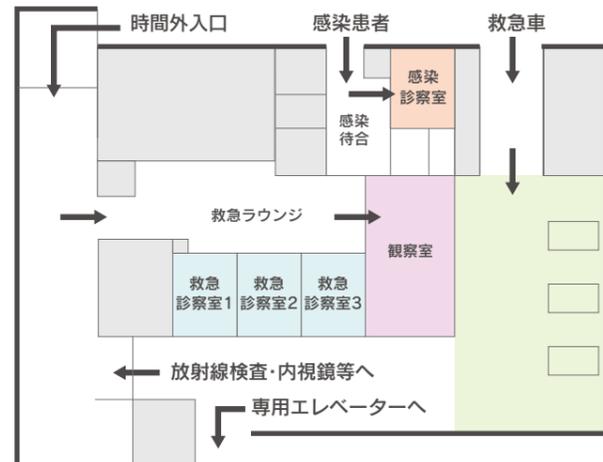
また、加賀市医師会の協力を得て加賀市民病院で行っている、市内の開業医によるかぜや腹痛などの診察も、加賀市医療センターで引き続き行います。(原則、日曜日・祝日9時～12時30分、13時～16時30分)

救急センターには、救急処置室に加え4つの診察室を備えています。

そのうちの1つは、インフルエンザ等の感染患者診察用となっており、出入口や待合室も一般患者と別になっています。



### 救急センター略図



## 集中管理センター

集中管理センター(HCU)は、脳卒中や急性心不全、大手術後など、極めて重症な患者さんを受け入れ、人工呼吸管理など高度で集中的な治療を行う病室です。

患者さん一人ひとりを24時間体制で見守りケアするため、院内に専任の医師を置き、一般病棟よりも多くの看護師を配置します。

ベッド数は10床で、手術室と隣接しており、また1階の救急センターからすぐ近くの専用エレベーターを使って入室できるようになっています。



### 集中治療の専用病棟設置

HCUを10床整備し、重症者等のさまざまな病状に対処します。



継続的な状態管理と高度な治療が必要

- 集中管理センター(HCU)
- 専属スタッフ



# 医療と介護の連携を強化します

医療と介護の連携を図り、退院後の介護サービスの利用等が円滑にできるようにします。

市の機関である「地域包括支援センター」のサブセンターを院内に併設し、当院の「地域医療連携室」及び「入院支援室」と連携し、入院前から退院後の生活を見据えた支援を行います。

それらの部署をまとめ、名称を「地域連携センターつむぎ」としました。

## 地域連携センターつむぎ

### 病院の機能

#### 入退院支援室

- 手術や検査などのスケジュールの説明
- 入院生活についての説明・相談
- 退院を見据えた支援

#### [退院支援]

- かかりつけ医や介護サービス事業者等との連絡・調整
- 転院先の受け入れ調整 など

#### 地域医療連携室

##### [病診連携]

- 紹介患者さんの診察・検査予約・受診調整
- かかりつけ医の紹介
- 紹介元への受診報告 など

##### [医療相談]

- 退院後の生活や仕事について
- 医療費や生活費などについて
- 社会保障や福祉制度の利用について など



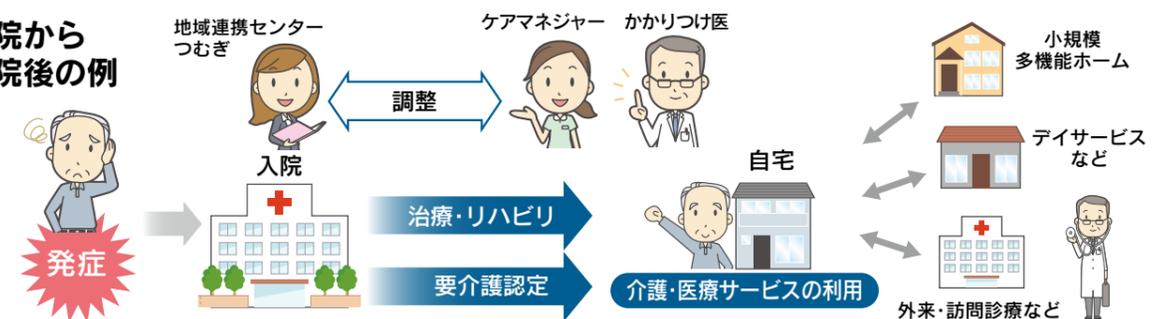
### 市の機能

#### 地域包括支援サブセンター

##### [高齢者の総合相談]

- 介護予防
- 介護保険サービスの利用
- 高齢者福祉サービスの利用
- 権利擁護
- など

### 入院から退院後の例



### 地域連携センターつむぎ

1F



# 快適な療養環境を提供します

## 病室は全て個室です

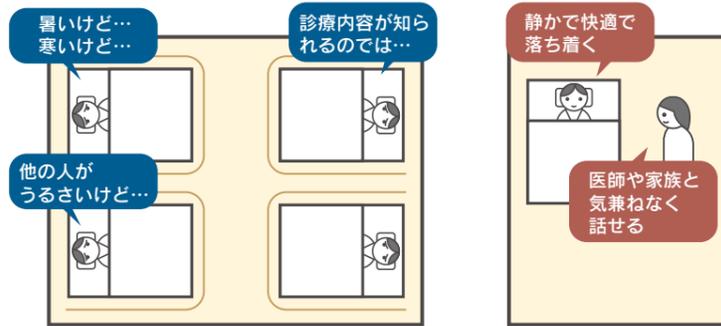
一般病室は全室個室とし、療養環境の向上を図ります。

これまで、個室以外の病室では、

- 日中でもカーテンで囲っている。
- 夜、同室の人のいびきがうるさい。
- 暑い、寒い(部屋の温度調節ができない)。
- 廊下側から明るい窓側へ移動できない。

など様々な問題があり、快適とはいえない療養環境でした。

そこで、この問題を解消するため、加賀市医療センターでは、HCUの10床を除き、全ての病室を個室としました。



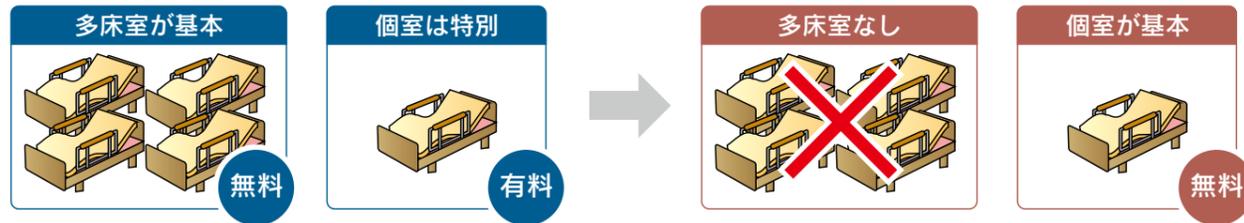
**多床室(4人部屋)の場合**  
同室の人に気を遣うため、療養に専念できない。

**個室の場合**  
療養に専念できる。

## ■ 室料差額

全室、室料差額(差額ベッド料)は頂きません。

今までは…



加賀市医療センターでは

これまでは、患者さんが個人の希望として個室を選択した場合、1日あたりの室料差額を頂いていましたが、加賀市医療センターでは「個室が基本」となることから、室料差額は頂きません。また、「特別室」はありません。

病室にはトイレ付きのユニットシャワー、洗面台を設けており、空調についても個々の部屋で冷暖房の切り替えが出来ます。また、窓もベッドに横たわっていても外が見られる高さとしています。

## LDR室を2室整備します

LDRとは、Labor(陣痛)、Delivery(分娩)、Recovery(回復)を略したものです。

陣痛室、分娩室、回復室が一つとなったLDR室で、妊婦さんは移動することなく、1つの部屋で出産することができます。

また、個室であるため、

落ち着いた静かな環境である

プライバシーが守られる

家族が立会いやすい



などの様々なメリットがあります。

加賀市医療センターでは、このLDR室を周産期病棟に2室整備します。

従来は…



部屋から部屋への移動が無い  
ため、負担が少ない。

加賀市医療センターでは

**LDR室**

移動なし

LDR室を2室設置し、出産時の妊婦さんの負担を軽減します。

落ち着いた雰囲気  
の部屋で過ごせるため、  
ストレスが少ない。



## デイルーム&屋上庭園

病棟各階にはデイルームを設け、入院患者さんやお見舞いの方がくつろぐことができます。南側に面した大きな窓からは、山々の良好な景観を眺めることができます。

晴れた日には、6階の屋上庭園で陽光を浴びてリハビリを行うことができます。



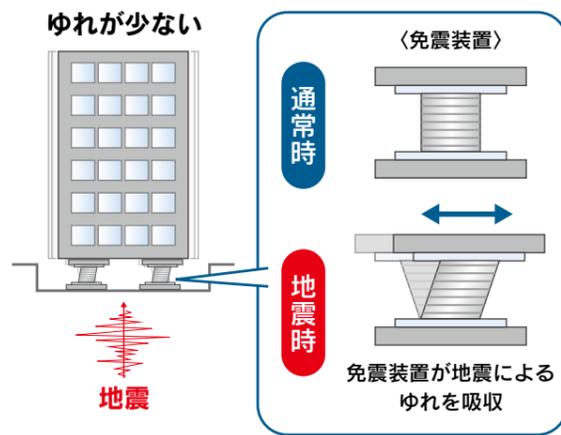
※写真はイメージです

# 患者さんの安全を守ります

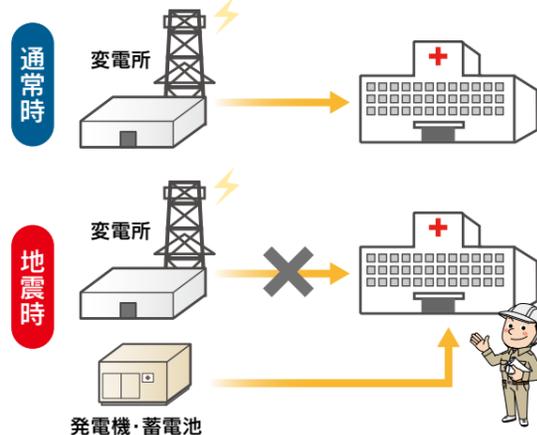
## 災害に強い病院に向けた整備

これまでの震災を教訓に、災害時も診療機能が維持できるよう「災害に強い病院」に向けて整備しています。建物は免震構造を採用し、大地震が起こった場合でも、強いゆれを吸収できるようになっています。また、外部からの電気の供給が遮断しても、自家発電機により約3日間の電力供給が可能です。さらに、備蓄庫に薬品や食料を備え、上下水道が途絶した場合でも井戸水を利用することができます。このように、万が一の場合にも対応できる万全の体制となっています。

### 免震構造



### 電気供給設備



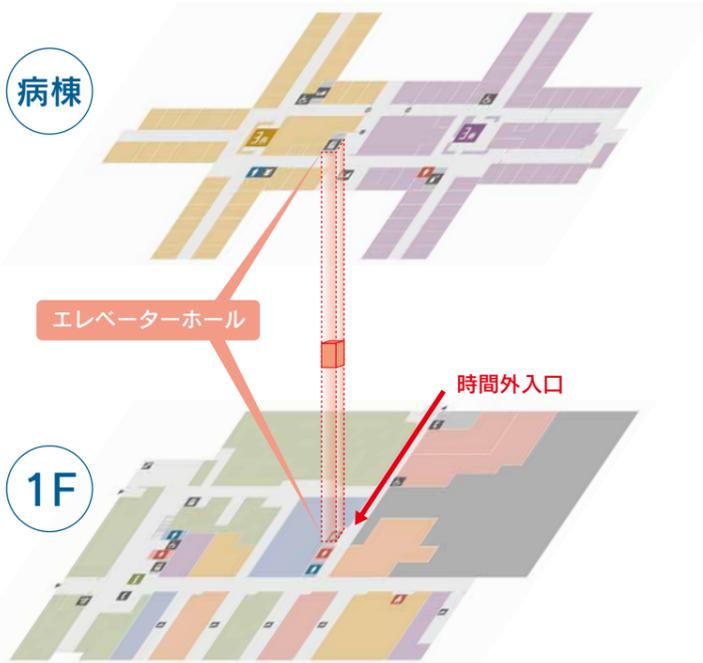
## セキュリティを強化します

夜間・休日の院内の出入りは、防災センターのある時間外入口のみとし、外部からの不侵者の監視を強化しています。

周産期病棟など、特にセキュリティが必要な区画に出入するためには、セキュリティカードが必要になります。

乳幼児の連れ去りを防止するため、出生後や入院中の乳幼児にICタグをつけ、無断で連れ出した場合には警告音が鳴るようにします。

### 病棟



# 健診センターを併設します

くつろいだ環境で検査を受けていただくため、健診センターを設けます。2階にある健診センター専用の受付と待合は、外来診察スペースから離れた場所にあり、落ち着いた内装となっています。また、一般の患者さんとはできるかぎり別に検査を実施するよう配慮しています。



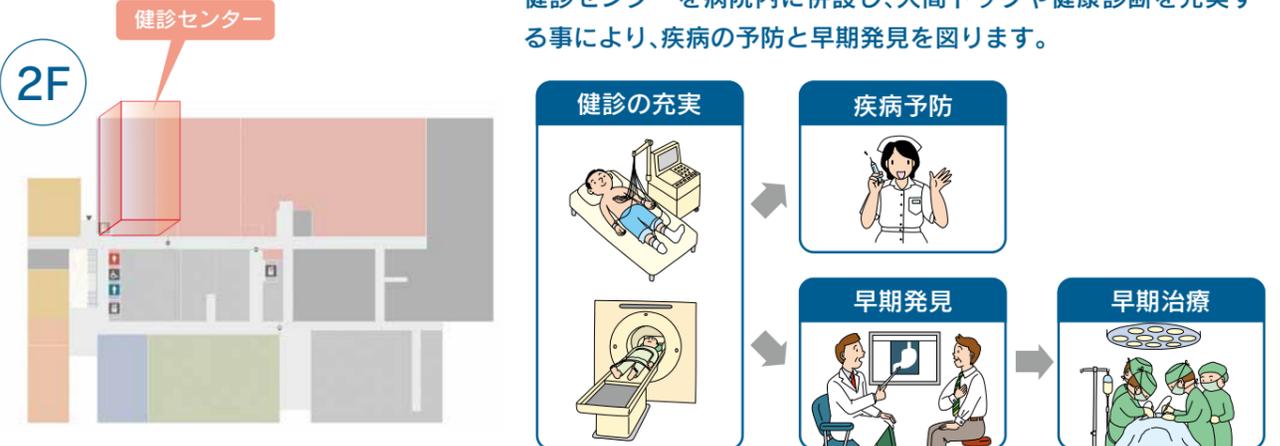
### 健診コース (予定)

- 人間ドック ●脳ドック
- 生活習慣病予防健診 ●特定健診
- その他健康診断



※写真はイメージです

健診センターを病院内に併設し、人間ドックや健康診断を充実する事により、疾病の予防と早期発見を図ります。



## 進捗状況

平成28年1月から、医療機器の搬入や什器の設置などが始まります。

4月1日の開院に向けての準備作業は着実に進んでいます。市民のみなさんご期待に添えるよう、山中温泉医療センター及び加賀市民病院の職員一同、開院準備に日々邁進しております。

※画像は平成27年11月26日のものです。



LDR室



診察室



HCU



正面ホール



救急センター



病室